

加工用トマトの疫病対策

概要 Abstract

露地栽培加工用トマトで被害が顕著な疫病について、防除時期と薬剤の能力を示しました。

成果 Results

疫病は7月から発生の可能性があり、8月後半以降は急激に進展します

表 疫病の接種と初発

試験年	定植日	接種日	初発日
2017年	6/5	7/26	8/1
	7/5	7/26	8/1
2018年	6/4	6/8	7/9
	7/9	6/8	7/21
2019年	6/3	6/24	7/9
	6/28	6/29	7/29

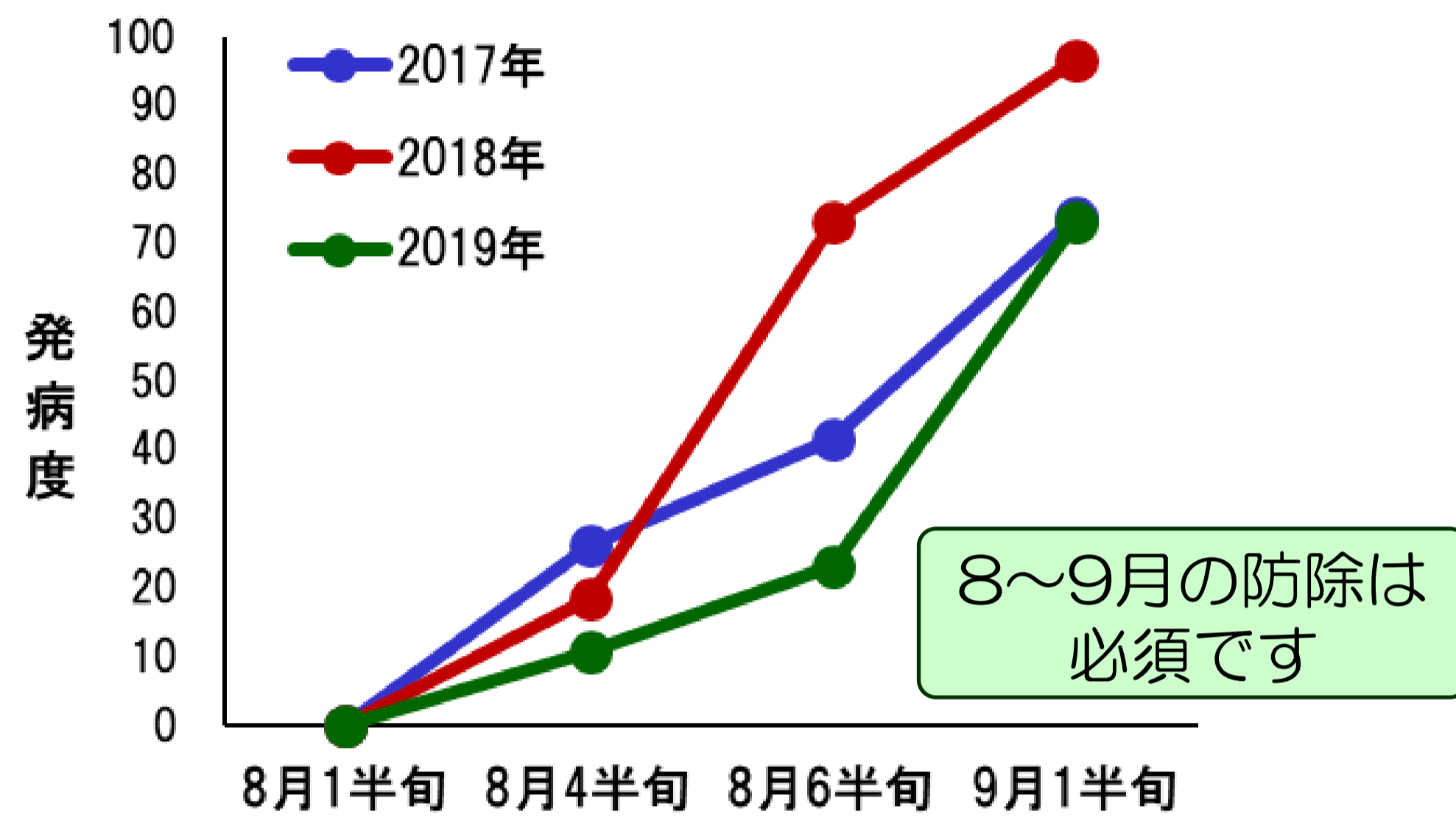
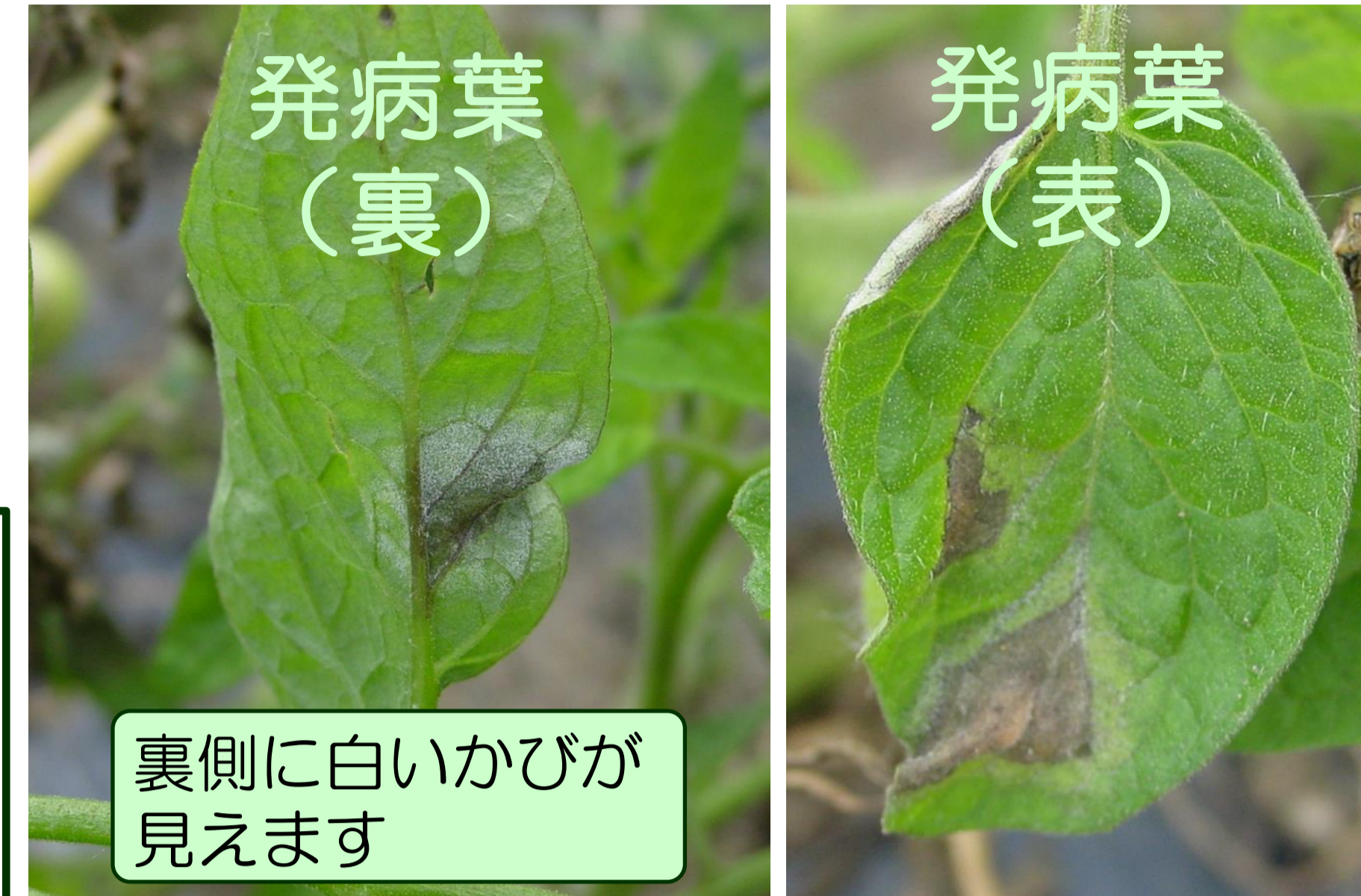


図 8月以降の疫病の進展（無防除）



裏側に白いかびが見えます



葉や茎の病斑から果実への感染・発病がおこります

試験に用いた薬剤はいずれも実用性があります

薬剤名	希釈倍率	通常散布	14日間隔散布
シアソファミド水和剤F	1000	◎	○
マンジプロパミド水和剤F	1500	◎	○
ベンチアバリカルブイソプロピル・TPN水和剤DF	1000	◎	—
TPN水和剤F (40%)	1000	○	×
マンゼブ水和剤	800	○	×
カスガマイシン・銅水和剤	1000	□	×
銅 (水酸化第二銅) 水和剤	1000	□	—

残効が長いです

◎：実用性が高い、○：実用性がある、□：効果は低い実用性がある、×：実用性がない、—：未試験で評価せず



疫病が進むと茎葉が枯れ上がります

疫病の薬剤防除は初発前から必要です

ベンチアバリカルブイソプロピル・TPN水和剤DFを散布

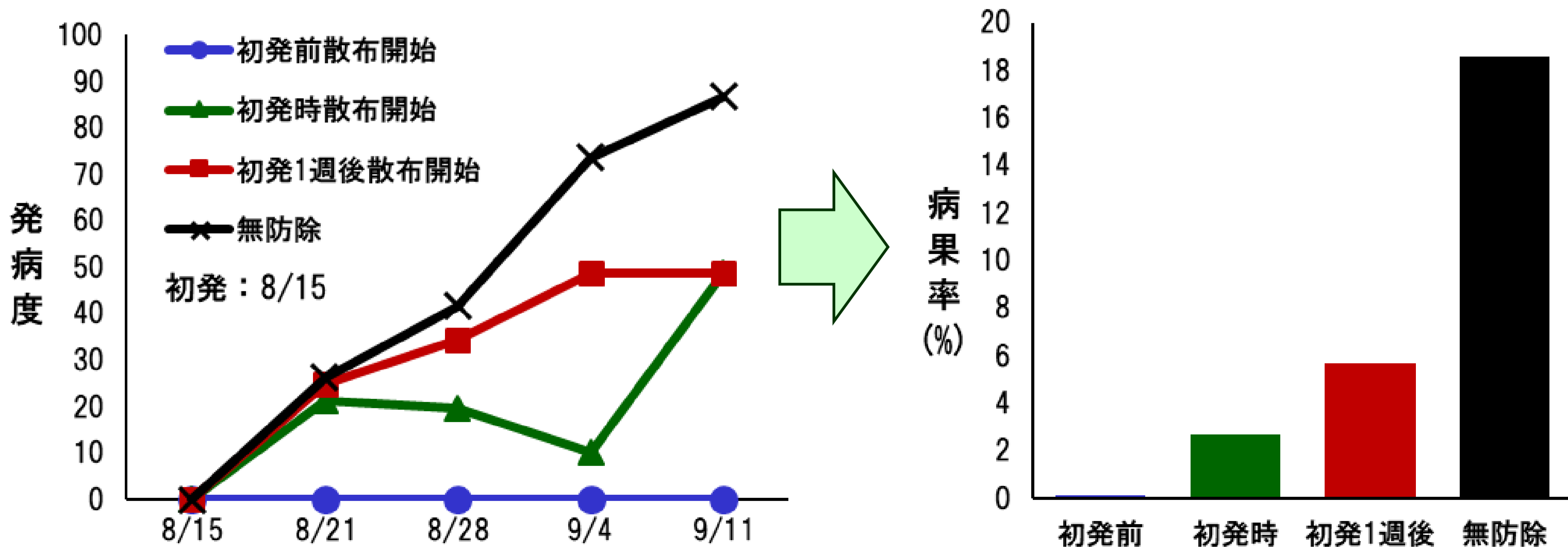


図 防除開始時期と疫病の発生状況 (2017年)

- 防除開始が遅れると疫病を抑えられません
- 茎葉の発病が多いと病果は増えます

加工用トマトの疫病対策

1. 初発前から防除を開始する
2. 防除は7月初旬からが望ましい
3. 8月中旬以降収穫直前までは必ず防除する

普及 Dissemination

- 露地栽培加工用トマト栽培における疫病対策として活用する。

連絡先 Contact

花・野菜技術センター 研究部 生産技術グループ
0125-28-2800 hanayasai-agri@hro.or.jp